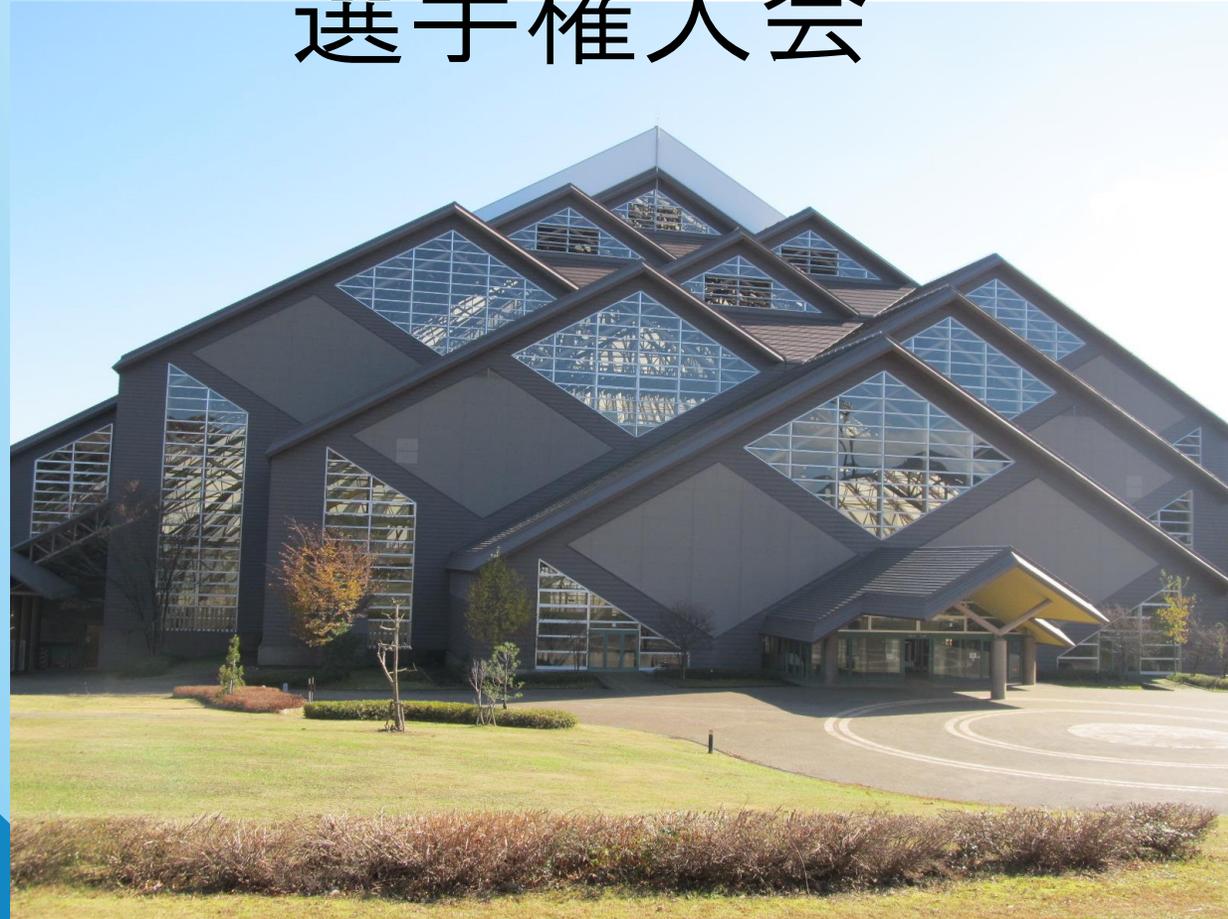


第21回全日本身体障害者野球 選手権大会



(NPO)日本身体障害者野球連盟

2019年11月2日
9:00~
開会式
9:50~
競技開始



2019年11月3日
8:30~
競技開始
15:40~
閉会式



澄み渡った但馬の空のもと
地元の学校の応援に見守られて
障害者野球令和元年の日本一を決める
大会が始まりました



全国の地区ブロック大会を勝ち抜いた代表 7チームが集いました

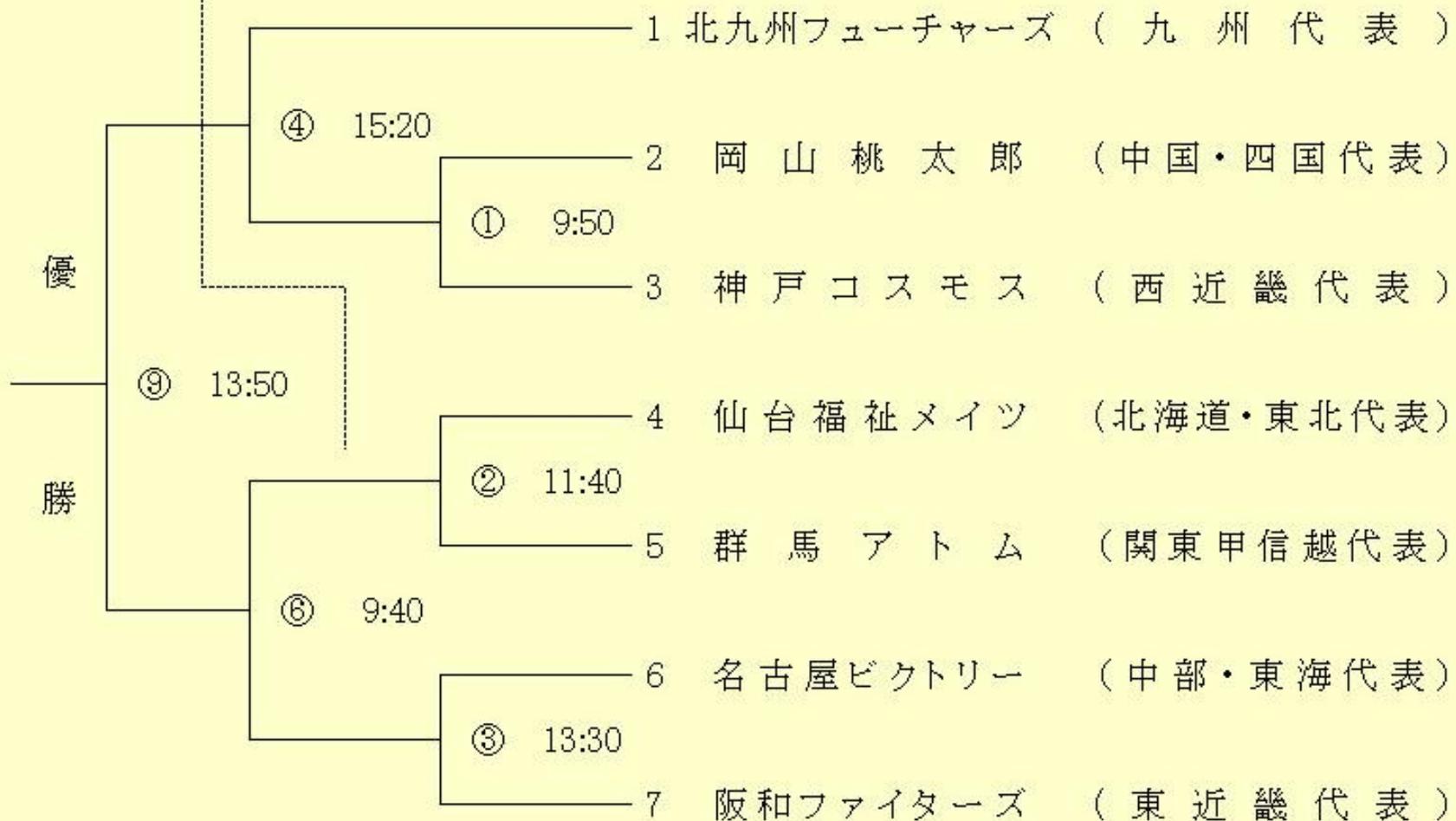




二日目

一日目

<若い番号が一塁側ベンチ>



二日間をかけて、全チーム地区の名誉のため残存能力をふりしぼり闘いぬきます。

初戦では同年5月選抜全国身体障害者野球大会の決勝戦の対戦と同じく神戸コスモスと岡山桃太郎の注目の再戦。

春の選抜の中では神戸コスモスが優勝したが、拮抗した試合の中、最終逆転で岡山桃太郎の勝利。



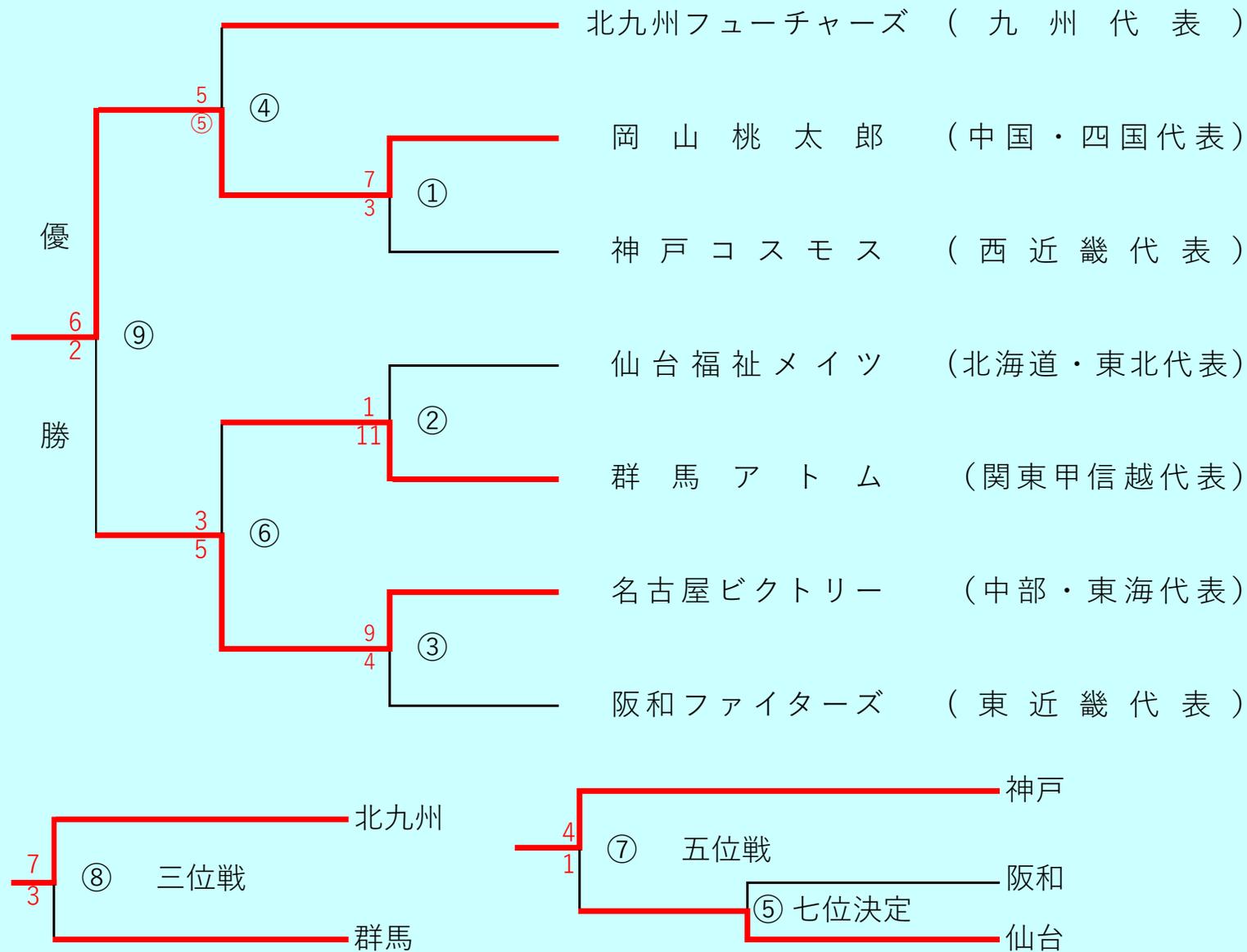
神戸を降した岡山桃太郎はつづく北九州戦でも勢いがあり、勝負が決まるかと思ったところ、最終回ツーアウトからまさかの同点に追いつかれ、同点ジャンケンの末、辛くも勝利をおさめました

一方のリーグでは、群馬アトムと名古屋の準決勝となりました。
初戦をコールドで勝利した群馬アトムの強打線のみごとに投球で抑え、第1回大会以来の20年ぶりに名古屋ビクトリーが進出を決めました。



決勝では第4回世界大会での日本代表のピッチャーである岡山桃太郎の早嶋投手と、名古屋ビクトリーの水越投手のぶつかりあいとなった。
一進一退の攻防の中、5回裏に岡山桃太郎の打線が爆発した。
3点差で2年ぶりに岡山桃太郎が日本一に輝きました。

- 優勝 岡山桃太郎
- 準優勝 名古屋ビクトリー
- 三位 北九州フューチャーズ
- 四位 群馬アトム
- 五位 神戸コスモス
- 六位 仙台福祉メイツ
- 七位 阪和ファイターズ



第21回全日本身体障害者野球選手権大会 成績結果

2019年リーグ年間MVP選手

田中大陽

大会最優秀選手賞

早嶋健太

優秀選手賞

水越大暉

殊勲賞

萩原龍斗

春田優希

敢闘賞

高月秀明

中舘武志

優勝 岡山桃太郎

準優勝 名古屋ビクトリー





応援ありがとうございました

